

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	交通規制課長 石飛 昇	電話番号	0852-26-0110 (代)
----------	-------------	------	------------------

事務事業の名称	交通管制システム整備事業		
目的	(1) 対象	県民（運転者及び歩行者など道路利用者）	
	(2) 意図	交通管制システムの整備を推進し、道路利用者の安全で円滑な交通を確保すると共に快適性を向上させる。	
事業概要	県民の生活がより安全で快適なものとなるようにリアルタイムな信号制御、交通情報の収集・提供、並びに交通管制システムの高度化を推進することにより交通環境の高度化を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	交通渋滞の発生時間	目標値	22,300.0	21,900.0	21,500.0	21,100.0	分
	式・定義	県内交通渋滞ワースト10交差点における300m以上の交通渋滞発生時の平均時間	実績値	22,736.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	147,441	174,761
うち一般財源 (千円)	66,655	71,870

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

・県内交通渋滞ワースト10交差点における渋滞発生年度間平均時間は、26年度は25,832分(430時間)であったが、27年度は22,736分(379時間)と減少した。
 ・26年度、27年度ワースト1であった東出雲町地区内の交差点の交通量は、26年度、27年度共に年度平均約19,000台と変化は見られなかったが、渋滞時間は5,712分(95時間)から3,689分(61時間)に減少した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・27年度の渋滞時間は前年度と比較すると減少しており、交通管制システムの高度化事業や信号制御等の調整に取り組んだ結果、交通の円滑化における成果があったものと考えている。
 また、交通事故等による交通障害発生時には、ドライバーに対する交通情報板、カーナビによる情報提供や、日本道路交通情報センターからのラジオ放送や電話問い合わせに対する情報提供も渋滞解消に繋がっているものと思料する。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・国道9号東出雲付近や宍道湖大橋、くにびき大橋における渋滞が慢性化している状況にある。また、夏休み期間や行楽シーズンには観光客の増加に伴い渋滞の拡大が懸念される。
 - ・安全で円滑な交通を確保するため交通管制システムの整備及び交通管制システム更新整備を考えなければいけない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・変化した交通流に対する信号秒数等の調整が追いつかない。
 - ・管制システムの老朽化。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・交通の安全かつ円滑化を図るための信号秒数等見直しの推進。
 - ・計画的に更新を行っているところであるが、更なる予算確保による計画的更新の推進。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・交通管制センターから信号制御可能な管制エリアの拡大、信号秒数等の見直しを推進するとともに交通管制センター中央装置の高度化等の計画的整備、また、維持管理の徹底により安全で円滑な交通流の確保を図っていく。

9. 追加評価（任意記載）